

市制施行を祝う旗行列

誕生 ASHIYA

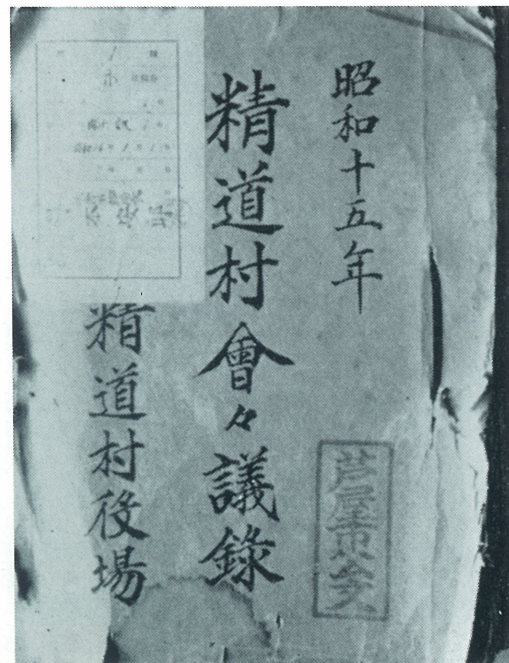
ASHIYA
多田

I 芦屋市誕生

精道村の発展は、交通機関の発達にともなって、阪神間有数の住宅地としての開発がすすみ、大正年間から上下水道の整備など、宅地としての生活環境の整備がすすめられ、文化住宅都市芦屋の基盤が形成されていきました。この間、昭和9、13年に大風水害があり、精道村も甚大な被害を受けました。しかし、この被災もひとつの契機として都市整備の充実をはかり、市制施行を旨とした調査と準備がすすめられました。

精道村村民の永年の宿望である市制施行は、昭和15年11月10日、全国で173番目の市として実現、村から一気に市へと飛躍しました。このときの人口は41,925人、戸数は8,147戸を数えました。

市名の「芦屋」は、大字名であった芦屋が、公共機関、駅名などにあり、村名の「精道」よりも全国的に知られていたので「芦屋」と決定されました。



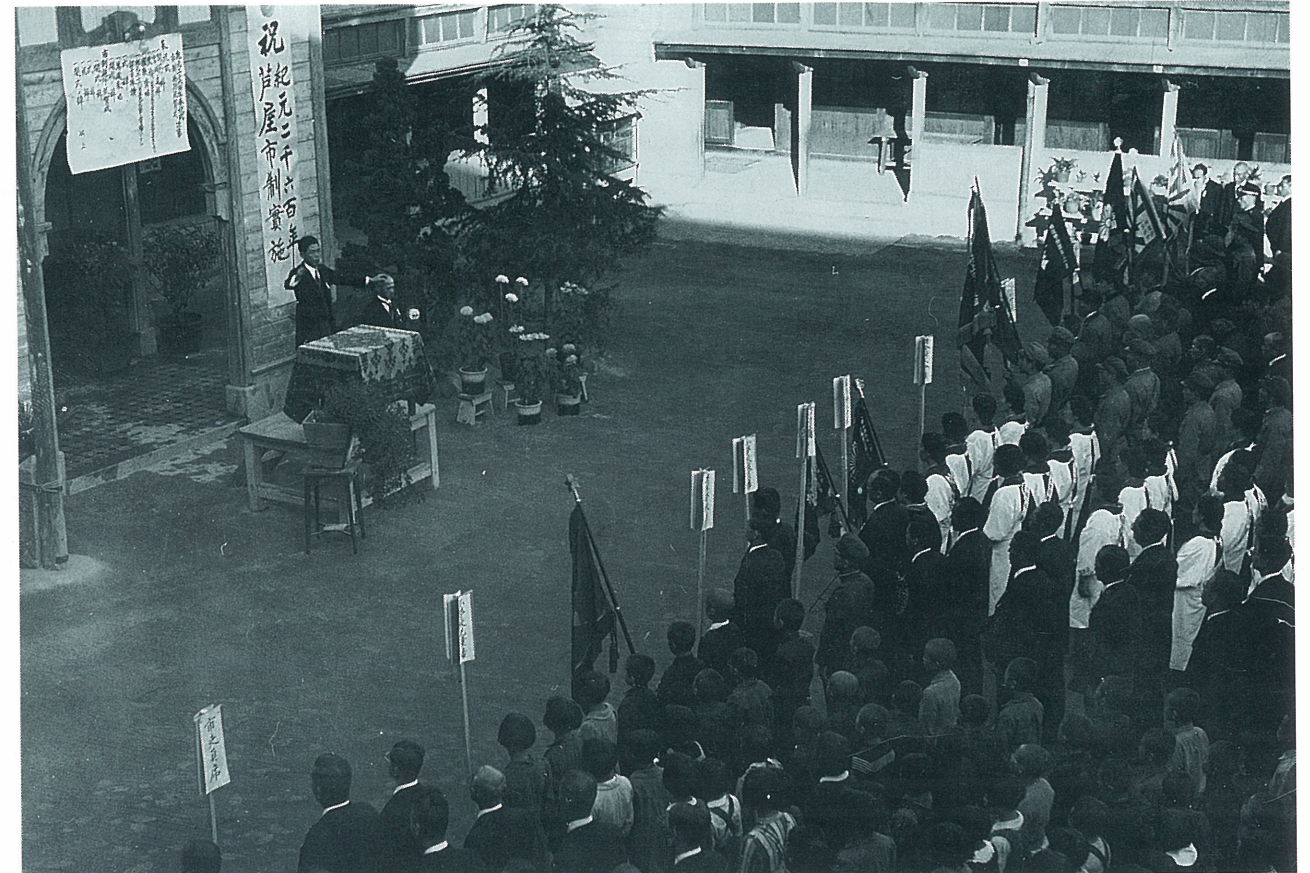
市制施行を決めた精道村村議会会議録
市制施行に関する件が上程付議された昭和14年11月18日招集の第9回精道村会会議録。



「村」から「市」へ 芦屋市の市制施行を報じる当時の新聞

市制施行祝賀式

精道村では、当初市制施行を昭和15年2月17日として内務大臣に上申、準備をすすめていましたが、これが延期されたため紀元2600年にあたる11月10日を要望しました。これが実現しただけに、市民の喜びもひとしおでした。昭和15年11月10日、この日は紀元2600年の祝賀行事が全国的に繰りひろげられ、芦屋市では市制施行とあわせて提灯行列、旗行列などがいちだんと盛大に催されました。



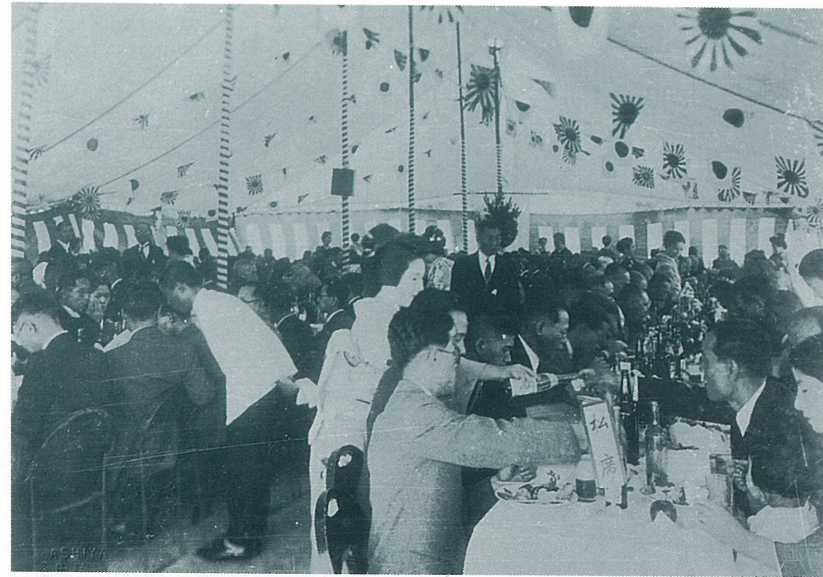
精道小学校での市制施行祝賀式 昭和15年11月10日



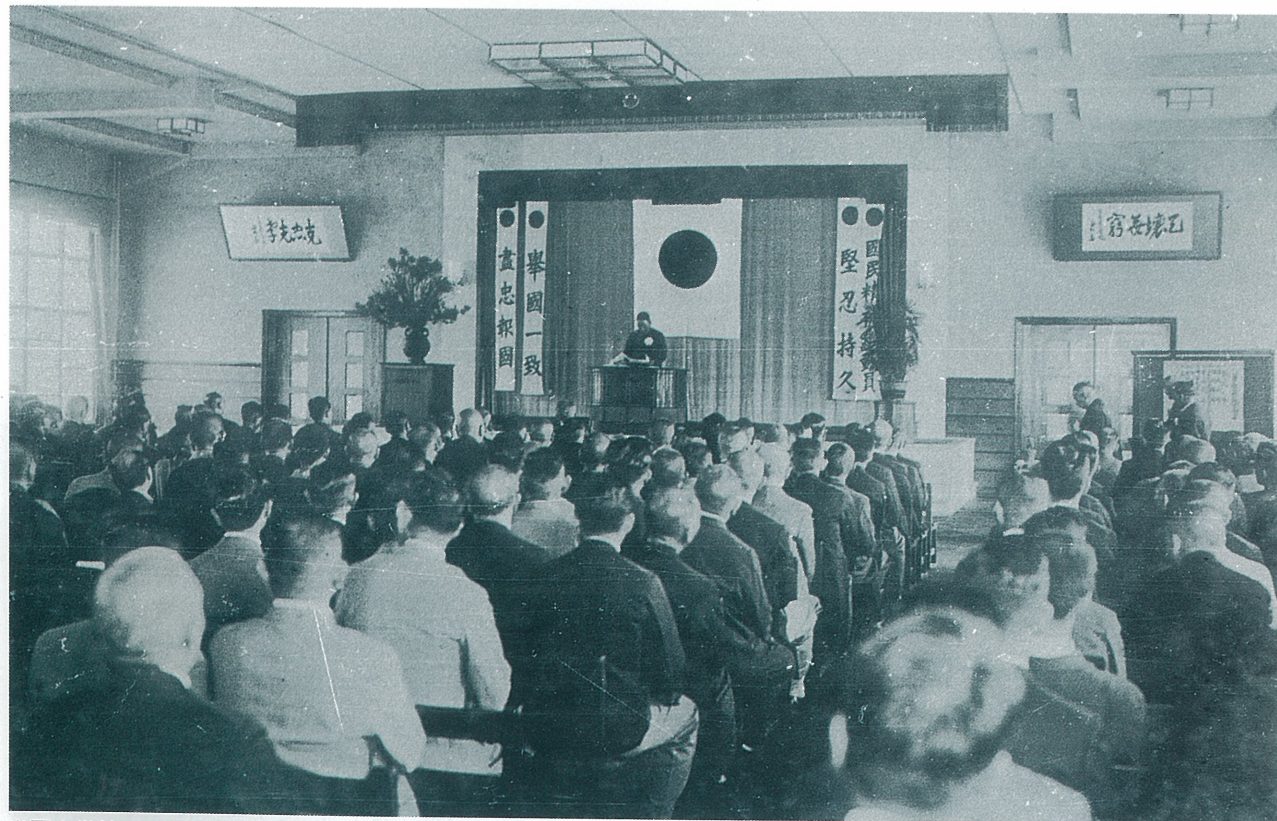
市制施行祝賀の旗行列 市役所前 昭和16年



市制施行時配布された記念の風呂敷



岩園小学校での市制施行祝賀式 昭和16年夏



岩園小学校での市制施行祝賀式 昭和15年11月に誕生した芦屋市では、戦時下であったため、翌16年夏、あらためて市制施行祝賀式を新築された岩園小学校で挙行了した。



最初の市議会議員 昭和15年12月26日には、市制施行後はじめての市議会議員選挙が行われ、30人の市議会議員が選出された。誕生したばかりの芦屋市民の選挙への関心は高く、有権者数5,990人のうち、79.9パーセントの人が投票するという高い投票率を示した。また31日には、市議会の全会一致をもって、それまで臨時代理の市長・助役・収入役は、新市制の三役として就任した。写真は、このとき選出された芦屋市最初の市議会議員で、昭和20年ごろ撮影されたもの。



市制施行当時の芦屋市街風景